



パッサン & オイシーナ フルーティーズ



広報おんな 1月(427号) 発行/恩納村 〒904-0492 沖縄県国頭郡恩納村字恩納2451番地 編集/総務課 電話(098) 966-1200 FAX(098) 966-2779 <http://www.vill.onna.okinawa.jp>

## 謹賀新年



### 目次

- 平成29年年頭のご挨拶..... 02
- 学芸員のはなし、恩納村の文化財..... 06 07
- 健康福祉まつり..... 08
- 税務課からのお知らせ..... 12
- アジア圏体験プログラム派遣事業..... 16

### 村のひと

総人口	10,988人	(-17)
男	5,615人	(-5)
女	5,373人	(-12)
世帯数	5,133人	(-12)

2016年11月末現在

### 第3回 アジア圏(台湾)文化・交流 体験プログラム派遣事業



本年度も、「アジア圏(台湾)文化・交流 体験プログラム派遣事業」を実施しました。11月7日から11日まで、台湾に小学生9名・中学生1名そして引率を含めた総勢14名を派遣し、地元の小中学生との交流を行いました。

2011年よりビデオ通話を使って交流を行っている小中学校(官田国民中學、嘉南国民小學、中興国民小學)を訪ね、一緒に授業を受け、一緒に給食を取り、一緒に遊びます。長年に渡る信頼関係が、このような交流を可能にしています。また、今回は新たに阿里山国民中小學での交流も行いました。

子供たちは、恥ずかしがりながらもお互い話しかけたり一緒に遊んだりしながら、自然と仲良くなっていきます。台湾の子供たちは、教科書を見せてくれたり、学校を案内してくれたり、積極的に関わってくれました。言葉は十分に通じないながらも、お互いが理解したいと思えば、コミュニケーションは成り立つものです。

また、交流先の官田地区は台湾に多大な貢献をした八田與一ゆかりの地であり、この地域を台湾有数の穀倉地帯とした烏山頭ダムがあります。それらの見学も大事な研修でした。

言葉の十分に通じない授業に参加し、文化交流では写真を使ったプレゼンテーションや琉舞・空手・三線・ピアノ演奏を披露し、宿舎に帰っては反省会や日誌の記録など、めまぐるしい日々を送ったにもかかわらず、帰国後の那覇から恩納村に向かうバスの中ではまだ興奮冷めやらず、「もっと居たかった」「また行きたい」という声が飛び交っていました。「子供たちを台湾に派遣した甲斐があった」と感じたところです。



### 恩納100 むらのきおく その七十五



#### ウーバーラー(糸籠)



糸芭蕉の繊維は衣服を作ったりするのに使われましたが、その糸芭蕉の繊維をつむいで作った糸を入れる竹かごです。沖縄の竹籠の中でも最も美しい形をしているともいわれますが、九州などにも類似したものがあり、沖縄固有のものではなく、外来の技法により作られた竹籠のようです。形状は底の部分が六角目に編まれており、胴部は斜めに編んで膨らみを持たせているのが特徴です。

村博物館 電話 982-5112